

令和2年度
北広島市保健福祉計画検討委員会
第2回 高齢福祉部会

日時： 令和2年10月6日（火） 18時30分～19時30分

場所： 北広島市役所 3階 3D会議室

◇北広島市保健福祉計画検討委員会高齢福祉部会

出席者：三瓶委員（部会長）
対馬委員（職務代理者）
安孫子委員
櫻井委員
島谷委員
土田委員
福屋委員
三木委員

◇事務局

出席者：工藤高齢者支援課長
柄澤高齢者障がい者相談担当参事
影久健康推進課健康づくり担当参事
青木高齢者支援課主査
浜山高齢者障がい者相談担当主査
布施高齢者支援課主査
宮本高齢者支援課主査
佐々木高齢者支援課主任
人見株式会社サーベイリサーチセンター北海道事務所長
林株式会社サーベイリサーチセンター北海道事務所主任

◇傍聴者 1名

《議事概要》

1 開 会

2 部会長あいさつ

3 報告事項

(1) 高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の評価と課題について

(質問、意見等)

委 員：日常生活用具給付（電磁調理器、火災報知器、自動消火器）について、「今後も利用実態が少ないことが予想されるため、廃止に向けた検討が必要である。」と記載がある。しかし、火災報知器は全世帯に設置が義務付けられている。設置義務の周知不足の為、給付が伸びていないのではないかと。設置義務および、給付制度があると案内した場合、給付実績に変化があるのではないかと。また、給付額は全額ではないのか。

(回 答)

事務局：周知については市のサービスネット等で毎年行っている。利用実績が低い点については、明確な理由は捉えきれていない。給付制度の使い勝手も含めて利用に繋がらないものと考えられる。給付額については、基準額が設けられており、所得に応じて負担割合が異なる。

(質問、意見等)

委 員：緊急情報キット・エルフィンボタン普及事業について、実際の活用はあるか。

(回 答)

事務局：消防からは、年間約5件と報告がある。

(質問、意見等)

委 員：居宅サービスの評価と課題について、新型コロナウイルスの影響で通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護や短期入所療養介護の利用減少が大きくなっていると記載があるが、実際は利用者自身が控えるケースだけでなく、施設自体の休止や、新規利用、継続利用を控えてもらったケースがある。このままの記載表現で適切だろうか。

(回 答)

事務局：新型コロナウイルスに伴い、閉鎖した事業所は1事業所のみである。数値でしか図れない面もあるため、今後は事業所への聞き取りを通して、各事業所の内情を確認していく。

(質問、意見等)

委 員：成年後見センターの運営について、中核機関の設置について検討が必要と記載があるが、具体的には。

(回 答)

事務局：中核機関の機能として、地域の連携支援のネットワーク作りや相談機能の充実が挙げられる。また、成年後見を引き受ける受任者と被後見人とのマッチング機能が求められている。すでにその機能の一部は、成年後見センターで担っているが、受任調整機能と後見人を支援する機能等が不足している為、中核機関の設置検討が必要と考えている。

(質問、意見等)

委員：認知症高齢者支え合い事業の評価と課題等の項目にあるように、コロナ禍であっても、時間を短縮する等の事業運営を行う工夫が大事である。他事業においても、ただ中止するのではなく、工夫をして運営継続して欲しい。

(回 答)

事務局：承知した。

(質問、意見等)

委員：就労支援金等助成事業による支援金の支給に伴い、福祉関係就労者の定着率に変化はあるか。

(回 答)

事務局：聞き取り調査では、事業所により千差万別。支援金は入社時と6か月継続時に申請が可能だが、6か月継続の申請は8割と集計結果が出ている為、有効な制度であると考えている。

(2) サービス提供事業者調査結果について

(質疑、意見等はなし)

4 協議事項：第8期介護保険事業計画策定に向けて

(質問、意見等)

委員：収束の見えないコロナ禍で、新しい生活様式が求められている。基本計画を策定するにあたり、国からのガイドラインはあるのか。

(回 答)

事務局：国より、インフルエンザを含む感染症に対する指針が出ている。基本目標3に掲げる、高齢者が安心できる居住環境確保の中で、感染症を含めた施策を検討していく。

(質問、意見等)

委員：基本目標1と3に見受けられように、第7期計画と言葉の表現が変更になっている。方向性がわかりやすく、賛成する。

委員：基本目標1の備考欄に、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組と結びつけと記載があるが、今まで保健事業に関しては、介護保険事業の計画外ではなかったか。

(回 答)

事務局：後期高齢者医療制度における保健事業については、今後、介護予防との一体的な実施をしていくことから事業を合わせて記載した。事業内容により費用の割り振りをしていく。

5 その他

(質問、意見等)

委 員：新型コロナウイルス感染拡大を受け、多数の市民が集う事業において、具体的な感染対策を周知する方法は現在考えられているか。第8期計画策定の際には、基本的な感染対策を掲載したリーフレットの作成や、リンクの掲載によるホームページ内での案内が必要と考える。

(回 答)

事務局：現状、地域のボランティア、老人クラブ等の活動においては、国や市、地域のガイドラインに基づいて活動を行うよう周知している。

(質問、意見等)

委 員：介護保険事業費の計画値と実績に開きが見受けられる。今後は実績差を狭めていく方向性なのか。また、差を狭めていくのであれば、どのような対策を行っていくのか。

(回 答)

事務局：需要と供給のバランスは概ねとれているが、計画値が大きすぎるため、実績との差が生じていると分析する。ただし、十分に提供ができていないサービスもあるため、具体策については未定だが、人材確保についても計画内に入れたいと考えている。

6 閉 会

19：30 閉会